

# のおがた

# 議会だより

## 5月臨時会

- ◆直方市職員等の給与に関する条例の一部を改正
- ◆令和4年度直方市一般会計補正予算を可決

## 6月定例会

- ◆直方市税条例等の一部を改正
- ◆令和4年度直方市一般会計補正予算を可決



### 主な内容

#### 【5月臨時会】

- P.2 提出議案とその結果  
賛否の分かれた議案
- P.3 質疑、委員会の審査

#### 【6月定例会】

- P.4 提出議案とその結果  
賛否の分かれた議案、質疑
- P.5 委員会の審査
- P.6 一般質問
- P.11 委員会活動
- P.12 水仙

## 5月臨時会に提出された議案等とその結果

### 【条 例】 ※全て原案可決

- 議案第 32 号 専決処分事項の承認について（直方市税条例の一部を改正する条例）
- 議案第 33 号 専決処分事項の承認について（直方市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例）
- 議案第 34 号 専決処分事項の承認について（直方市国民健康保険税賦課徴収条例の一部を改正する条例）
- 議案第 37 号 直方市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について
- 議案第 38 号 直方市長、副市長及び教育長の給与に関する条例の一部を改正する条例について
- 議案第 39 号 直方市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
- 議案第 40 号 直方市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例について
- 議案第 41号 直方市会計年度任用職員の給与、費用弁償及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について

### 【予 算】 ※全て原案可決

- 議案第 35 号 専決処分事項の承認について（令和3年度直方市一般会計補正予算（第12号））
- 議案第 36 号 専決処分事項の承認について（令和4年度直方市国民健康保険特別会計補正予算（第1号））
- 議案第 42 号 令和4年度直方市一般会計補正予算（第1号）
- 議案第 43 号 令和4年度直方市介護保険特別会計補正予算（第1号）

### 【報 告】 ※報告

- 報告第 3 号 専決処分事項の報告について（市営住宅家賃滞納に係る民事調停）
- 報告第 4 号 繰越明許費繰越計算書について（直方市一般会計）
- 報告第 5 号 事故繰越し繰越計算書について（直方市一般会計）

### 賛否の分かれた議案 ※その他の結果については、全会一致で賛成となっています。

議案番号	静 燃 会		よ つ ば			政 風 会		明 政 会		日本共産党		市民クラブ		公 明 党		無所属	令 和 会			
	安永浩之	三根広次	篠原正之	森本裕次	中西省三	渡辺幸一	田代文也	野下昭宣	佐藤信勝	那須和也	渡辺和幸	澄田和昭	高宮誠	紫村博之	宮園祐美子	渡辺克也	矢野富士雄	村田明子	松田昇	
第 34 号	○	○	○	○	—	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	
第 39 号	○	○	○	○	—	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×
第 40 号	○	○	○	○	—	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	
第 41 号	○	○	○	○	—	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	
第 42 号	○	○	○	○	—	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

○：賛成、×：反対、欠：欠席

—：議長には賛成・反対の意思表示をする表決権がありませんが、賛成・反対が同数になった場合、可否を決める裁決権があります。

# 質疑

5月臨時会で質疑が行われた議案については次のとおりです。

議案番号	議案名	発言者	質疑項目
第39号	直方市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	渡辺 和幸	6月の期末手当で減額することの見送りの判断や国からのペナルティの有無 ほか
第42号	令和4年度直方市一般会計補正予算(第1号)	渡辺 和幸	【歳入】総務費国庫補助金 ほか 【歳出】都市計画総務費 ほか
		那須 和也	【歳出】マイナンバーカード利用環境整備支援業務委託料 ほか
		高宮 誠	【歳出】中心市街地産業支援業務委託料ほか

## 各常任委員会

5月11日に開催され、付託された議案について審査した主な内容です。

### 総務常任委員会

直方市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

今回の改正に伴い3月末に退職となった職員や退職後に再任用となった職員はどうなるのかと尋ねました。所管課からは、今回の令和3年度分の調整額の対象について、3月末に退職した職員は対象とならないが、再任用となった職員については減額措置の対象となるかと尋ねました。また、今回の減額措置について、職員間で対応が異なることは矛盾しないのかと尋ねました。退職者は既に職員ではなく、再任用職員は職員の身分を有していることから条例の適用となることから、また今回は昨年国から改正を見送るよから、異例の対応となったことと認識していると回答がありました。

### 教育民生常任委員会

令和4年度直方市一般会計補正予算(第1号)のうち所管分について

まず、体育施設費に計上されている修繕料について、体育館のWi-Fi環境を整備することだが、来館者向けのフリーWi-Fiもiかと尋ねました。所管課からは、その予定であるとの回答がありました。また、中央公民館のWi-Fi整備状況について尋ねました。所管課からは、すでに整備しており、利用可能であるとの回答がありました。次に、学校給食費無償化及び幼稚園・保育園の給食副食費無償化について、対象期間は2学期分とのことだが、3学期については無償化の対応はできないのかと尋ねました。所管課からは、物価高騰の先行きが見えないことや全体的な予算のバランスから、2学期のみの対応としているとの回答がありました。

### 産業建設常任委員会

令和4年度直方市一般会計補正予算(第1号)のうち所管分について(商工費)

直方市新型コロナウイルス感染症対策地域公共交通支援金について、その対象が市内5タクシ事業業者の93台のことだが、行うのかと尋ねました。所管課からは、今回の支援金は悪化している事業者への支援を行うため、1台4万円の支援を行うもので、対象台数の確認について、現時点では想定通りであり、今後、実際の支給を行う際に確認を行うとの回答がありました。また、市民からの問い合わせが非常に多く、対象となる車両について、実際に使用されている車両であること、確認が必要であること、支援金支給の制度設計

委員会の結果、賛成多数で可決すべきものと決定しました。

委員会としては、今後の新型コロナウイルスや物価上昇による子供や家庭への影響を鑑み、期間の延長も視野に入れて手当てをするよう要望しました。

採決の結果、可決すべきものと決定しました。

令和4年度直方市一般会計補正予算(第1号)のうち所管分について(土木費)

オートキャンプ場予約システム導入業務委託料について、今後稼働する予定の中央公民館等の予約システムとの連携はどうかと考えているのかと尋ねました。所管課からは、現時点では、他の予約システムとの連携等の確認は行っていないとの回答がありました。次に、今後、システムを構築する中で、他の予約システムとデザインの一貫性を図る考えがあるのかと尋ねました。所管課からは、今後の予約システムとの連携やデザインの一貫性を図ることも考慮しながら発注していきたいとの回答がありました。

委員会の結果、賛成多数で可決すべきものと決定しました。

## 6月定例会に提出された議案等とその結果

### 【条 例】 ※全て原案可決

議案第 44 号 直方市税条例等の一部を改正する条例について

議案第 45 号 直方いこいの村施設整備基金条例を廃止する条例について

議案第 46 号 直方市国民健康保険税賦課徴収条例及び直方市介護保険条例の一部を改正する条例について

議案第 47 号 直方市下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について

### 【予 算】 ※全て原案可決

議案第 52 号 令和 4 年度直方市一般会計補正予算（第 2 号）

議案第 53 号 令和 4 年度直方市国民健康保険特別会計補正予算（第 2 号）

議案第 54 号 令和 4 年度直方市介護保険特別会計補正予算（第 2 号）

### 【人 事】 ※同意

議案第 50 号 直方市公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて

議案第 51 号 直方市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて

### 【そ の 他】 ※全て原案可決

議案第 48 号 財産の取得について

議案第 49 号 市道路線の認定について

意見書案第 3 号 最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める意見書について

意見書案第 4 号 安全・安心の医療・介護・福祉を実現し国民のいのちと健康を守るための意見書について

意見書案第 5 号 地方財政の充実・強化に関する意見書について

意見書案第 6 号 少人数学級・教職員定数の改善に係る意見書について

### 【報 告】 ※報告

報告第 6 号 専決処分事項の報告について（市営住宅家賃滞納に係る民事調停）

報告第 7 号 予算繰越計算書について（直方市水道事業会計）

報告第 8 号 予算繰越計算書について（直方市下水道事業会計）

## 賛否の分かれた議案

※その他の結果については、全会一致で賛成となっています。

会派名	静 燃 会		よ つ ば			政 風 会		明 政 会		日本共産党		市民クラブ		公 明 党		無所属	令 和 会			
議案番号	議員名	安永浩之	三根広次	篠原正之	森本裕次	中西省三	渡辺幸一	田代文也	野下昭宣	佐藤信勝	那須和也	渡辺和幸	澄田和昭	高宮誠	紫村博之	宮園祐美子	渡辺克也	矢野富士雄	村田明子	松田昇
意見書案第3号		×	×	×	×	—	×	×	○	欠	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
意見書案第4号		×	×	×	×	—	×	×	○	欠	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○

○：賛成、×：反対、欠：欠席

—：議長には賛成・反対の意思表示をする表決権がありませんが、賛成・反対が同数になった場合、可否を決める裁決権があります。

議案番号	議案名	発言者	質疑項目
第 45 号	直方いこいの村施設整備基金条例を廃止する条例について	渡辺 和幸	財政調整基金に積立て後の管理についてほか
第 52 号	令和 4 年度直方市一般会計補正予算（第 2 号）	渡辺 和幸	【歳入】 文書広報費 ほか
		安永 浩之	【歳出】 放課後児童健全育成事業委託料ほか
		那須 和也	【歳出】 予防接種業務委託料ほか
報 告 第 6 号	専決処分事項の報告について（市営住宅家賃滞納に係る民事調停）	篠原 正之	市営住宅家賃の現在の滞納状況についてほか

6月定例会で質疑が行われた議案については次のとおりです。

## 質 疑

## 各常任委員会

6月21日に開催され、付託された議案について審査した主な内容です。

### 総務常任委員会

令和4年度直方市一般会計補正予算(第2号)のうち所管分について

本会議でも質疑のあった2款1項2目文書広報費の電算システム改修委託料について、4月から運用を開始してすぐに改修ということだが、最初の段階で想定できなかったのかと尋ねました。

所管課からは、当初はシステムの標準仕様で対応できると想定していたが、実際に運用を開始した結果、いろいろな意見があり、現在の仕様のままでは対応できないと判断したとの回答がありました。

次にシステムの導入業者に過失等はなかったのかと尋ねました。

所管課からは業者は仕様書等に定めた内容で納品しており、今回は実際に運用を行った結果、市の判断により標準仕様外の改修が必

要と判断したとの回答がありました。

委員からは、DX化に向けて各部署で擦り合わせを行ってきたと思うが、部署ごとにバラつきがあることは問題だと思つたため、気をつけてほしいとの意見がありました。

採決の結果、可決すべきものと決定しました。

### 教育民生常任委員会

令和4年度直方市一般会計補正予算(第2号)のうち所管分について

文化財修復委託料について、住友財団より本事業の助成が採択されたポイントは何かと尋ねました。

所管課からは、世界に対し、石炭産業について国を挙げてPRしていた記録の一つであったという希少性と、その当時の状況をよく表している象徴的なものであるという点が採択の決め手になったと考えているとの回答がありました。

また、ほかにも様々な助成事業があると思うが、助成金について情報収集はされているか尋ねました。

所管課からは文化振興全

体に関しては、情報誌や他の文化施設、学芸員のネットワークなどを通じて日々情報収集しているとの回答がありました。

採決の結果、可決すべきものと決定しました。

令和4年度直方市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について

骨粗しょう症対策事業委託料について、具体的にはどのような事業内容かと尋ねました。

所管課からは、直方・鞍手医師会と直方市の連携事業で、骨粗しょう症のリスクを広く知らせ、検査を受けるための事業であり、その第一歩として告知する事業を計画しているとの回答がありました。

採決の結果、可決すべきものと決定しました。



### 産業建設常任委員会

令和4年度直方市一般会計補正予算(第2号)のうち所管分について

プレミアム付商品券事業費補助金について、1億4千万円を旅行分と飲食分で按分する考えはあるのか、また按分する場合、按分の根拠はあるのか尋ねました。

所管課からは、旅行分と飲食分で予算の割り振りは行いたいと考えている。その根拠については、現在の市内の旅行会社2社からヒアリングを行っており、その結果を参考にこれから決定していきたいとの回答がありました。

次に、これまでのプレミアム付商品券の販売に際し、抽選に漏れた市民の方から、他の自治体では購入を住民に限定しているところもある中、なぜ直方市では市外居住者も購入できるようにしているのかとの不満の声がある。抽選に際し、市民優先の対応を行う考えはあるのか尋ねました。

所管課からは、プレミアム付商品券事業の目的は、

市内事業者の支援であり、事業主体の商工会議所に対し補助を行っている。そのためこれまで市民に限定せず販売を行っている。しかしながら、市としては、今後、コロナ後を見据え消費を喚起していく中で、市民の購買意欲を高めていくことも重要であると考えており、販売の方法について、商工会議所と協議を行いたいとの答弁がありました。

委員会からは、プレミアム付商品券の販売については、市民から市民優先の販売方法を行ってほしいとの声もあることから、今後の販売方法について、事業主体の商工会議所と協議を行うよう要望しました。

採決の結果、可決すべきものと決定しました。

